

みなみのまかひ

2023
(令和5年)
8月1日
No. 63

 南伊勢町議会だより

主な内容

6月定例会	P 2
一般質問	P 5
委員会活動報告	P 11
つぎやき広場	P 12
みんなでやっとなるで～ほか	P 14

みんなでやっとなるで～
元気シニア 健康教室



重点事業と注目ポイント

6月20日から21日までの日程で、令和5年度第2回南伊勢町議会定例会が開催されました。補正予算案4件、条例案5件、その他の議案3件、報告3件が提案され、すべて原案通り可決・承認されました。また、専決処分の報告が1件ありました。

一般質問では、議員6名が質問を行いました。

議案第43号 令和5年度南伊勢町一般会計補正予算（第2号）

商 品券たすかるわ～



コロナ禍において、物価・燃料高騰に直面する町民（生活困窮者等を含む）及び低迷する消費行動から影響を受ける事業者等への支援策としてプレミアム付き商品券を発行し、1万円分を5千円で販売。（全町民分）

プレミアム商品券事業
6374万円

議案第43号 令和5年度南伊勢町一般会計補正予算（第2号）

価 格高騰いつまで



コロナ禍における電力・ガス・食料品等の価格高騰による家計の負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯へ給付金を支給。

物価高騰
緊急支援給付金事業
7810万円

給 食おいしい～



これまで通りの栄養バランスや量を保った学校給食等が実施されるよう、物価高騰等の影響を受ける学校給食に要する経費を支援。

**学校給食
価格高騰対策補助金事業
244万円**

議案第 51 号 工事請負契約の締結について

福 祉避難所って
どんなところ？



高齢者や障がいをもった方々など、特別な配慮が求められる方を対象とした福祉避難所の整備を計画的に推進し、今年度は南島西体育館を福祉避難所として整備し、要配慮者に対して災害時における避難場所の良好な生活環境の確保を図る。

**南島西体育館
（福祉避難所）改修工事
6105万円**

あなたの声を市政に!!

一般質問



議員の Question 行政の Answer

一般質問は、町民の声や議員自身の考えをもとに、町の行政・財政の全般にわたり、執行機関に対して疑問点をだし、将来に対する政策方針などを問うものです。

質問議員	質問事項	ページ
上村直美	① 今年度の防災の取組について。	5
田中喜一郎	① 当町における「かかりつけ医」の現状と、今後の展望・課題について ② 今年度拡充した巡回図書館の運営現状と期待する効果今後の展望について	6
森源久	① 陸海空のポート（港）と交通網の整備、及び、関連する事柄 ② マイナンバーカードに関連する事柄、並びに諸問題	7
岡本眞	① 教育について ② 防災について ③ まちづくりについて	8
倉田育	① 子育て支援の拡充と、医療助成について ② 森林環境の保全と整備、花粉症対策について	9
岡田和夫	① みえ子ども・子育て応援総合補助金を何に使うのか ② JAの販売所閉鎖に対して町はどのような対策を考えているのか ③ 町立病院の公金横領事件について	10

6月定例会における傍聴者の総数

6名（内 メディア関係者数 1名）

一般質問の質問事項・内容は、議会広報特別委員会で会議録に基づいて編集、要約しています。詳細は、議会事務局に、お問い合わせください。（TEL 0599-66-1781）

議員視察

7月5日～7日の3日間、議員視察を行いました。
視察先は、宮城県石巻市と牡鹿郡女川町で、震災遺構の見学、水産業の課題、震災時の災害対応等について研修しました。
詳細については次号で掲載します。



防災に対する取組は

町長 福祉避難所の整備を

Q

5月5日に、能登半島沖を震源とする震度6強の地震が発生した。その後も、各地で大きな地震が発生し、このような地震の増加が、巨大地震につながるかわからないが、いつ起こってもおかしくない。

当町では、防災に対する取組が積極的に行われているが、今年度の取組は。

A

町長 南海トラフ地震の関連が心配されるが、地震はいつ起こるかわからない。一つ言えるのは、確実に「南海トラフ地震は将来起こる」と言うことである。

総合防災訓練に加え、防災イベントやシンポジウムを開催し、災害を正しく知って適切に備えることを目指していく。指定緊急避難所の対策として、年数の経過により改良や機能強化が必要なため、交付金事業により順次整備を行う。

特に高齢者や障がいを持った方々を対象とした、福祉避難所の整備を計画的に推進して行くこととし、また地震だけでなく、異常気象で豪雨災害による犠牲者

を一人も出さないために災害対策本部を早期に準備・体制を構築し、災害対応に努め、「警戒レベル」を用いた避難指示等の発令についてわかりやすく周知啓発をする。



うえ むら なお み
上 村 直 美 議員



プライバシーの確保を



避難所はみんなの力で

かかりつけ医は

町長 医療従事者の確保が必要



たなか きいちろう
田中喜一郎 議員



なんでも相談してね！

Q

医療形態の中心は、地域に寄り添える「総合診療」であり、地域における「かかりつけ医」の重要性がますます高まってきている。

当町における「かかりつけ医」に関する認識と現状は。

A

町長 地域医療を実践し、継続するために、地域の必要に応じた「かかりつけ医の確保」「在宅医療の充実」「医療従事者の確保」が必要である。かかりつけ医は、生活を

支える医療という、当町の地域医療を支える大切な医療機関である。新総合計画においても地域医療の充実という政策の進捗を図る指標を「町内医療機関をかりつけ医としている人の割合」としており、現在の約50%から、令和11年度には60%を達成したいと考える。人口減少と高齢化が進むなか、当町に暮らす皆さんの日々の生活と「安心」を支えていく大切な柱の一つとして「当町の地域医療」を守っていく。

巡回図書は

教育長 機能の充実



本が身近に

Q

今年度、教育委員会の事業の拡充として、図書室の環境、活動のさらなる充実を図るため、巡回図書の運営に取り組むとのことであるが、具体的な内容は。

A

教育長 令和5年度より、図書館機能の充実を図っていくため、

図書室までの移動が困難な高齢者の方々などを対象に、本の貸し出しや読み聞かせを行うことができるよう委託業者による巡回図書を始めた。

各地区に出向き、民生委員さんのご協力を頂きながら、巡回図書を通じて高齢者等の交流の場や居場所・環境づくりを行う。



もり 森 もと ひさ 源 久 議員



交通体系の充実と利便性向上を

拠点づくりの計画は

町長 直販施設を検討中

Q

当町には拠点・シンボルとなるような、陸海空のポート整備をしていく必要があると考える。町としてポート（港）や交通網の整備についての考え、また現在の状況と、今後の計画や構想は。

A

町長 ポートについて、いかなる拠点を必要とするかの要件、観光地へのアクセス方法、費用面などの実現可能性といった複数の側面から検討を要すると考える。

が重要と考え、現在、農林水産物等の直販施設について検討を進めている。交通網の整備は、町民の利便性を図るとともに、町外からの来訪者・観光客が利用しやすい環境づくり、町内の観光スポットへのアクセス確保を進め改善に向けて取り組んでいく。

Q

参議院本会議で6月2日、マイナンバー法等改正法案が可決、成立した。しかし、他人の情報と紐付けるミスといった誤った登録等の問題も明らかになっている。

住民は安心して、マイナンバーカードを使用できるのか。また、当町の現状は。

A

町長 令和5年5月28日現在マイナンバーカードは、当町で8,143枚交付されており、交付率は69・97%。令和6年度の秋より保険証との一体化が決定しており、今後その活用範囲が拡大していくことが予想される。

現在、報道されているトラブル等の問題は、町の窓口では発生していない。国のシステム改修等の改善点の広報を実施しつつ、町民の皆様からの問い合わせに対して丁寧に対応していく。

安心して使用できるのか

町長 丁寧に対応していく



庁舎内での相談窓口は9月まで延長

子どもたちに「生きる術」を 教育長 子どもファーストで



おかもと まこと
岡 本 眞 議員



自然と触れ合う「干潟探索」でドキドキ

Q

三年余りにわたり、コロナ禍に苦しめられ、不安要素が多い時代となっている。未来を考え、子ども達に出来る限りの生きる術を授けなければならぬ。

教育長は1年余りの在任期間を総括し、今後どのように進めていくのか。

A

教育長 従来の教育活動を見直す中

で、感染防止を徹底しながら、安易に学校行事を中止するのでなく、何ができるかを全教職員で模索し、時には児童生徒と共に考え、取り組んできた。また関係各課や地元の方々の協力があつてこそと考えている。今後も、子どもファースト、学習者ファーストの考え方で、地域全体の教育力の向上を目指していく。

Q

コロナ感染症が2類から5類へ移行

し、経済活動をはじめ文化活動も解禁となり、市中に賑わいが戻ってきた。しかし、私達をとり巻く環境は厳しいものがあると感じる。町長の現在の心境と今後のまちづくりについての抱負は。

A

町長 今回、「こぎ出そう未来へMINAMISE」と語りかけ

る当町の新しいポスターを

今後のまちづくりは 町長 皆様の声を形に



280 枚の写真が背景になっています

作成したが、オール南伊勢のもと未来へ向けて漕ぎだしていきたいという思いを感じている。取組を進めるためには、まず「実行」、皆様の声を形にすることが、明日の南伊勢町への道であると考え。今後もまちづくりの5つの柱の取組を着実に実行し、町民が元気で輝き続け、時代が変化する中でも、ここで暮らす人が幸せを感じ続けられるよう進めていく。



くら いた いく 育 議員

町長 子ども医療福祉医療費助成制度に対して、県より補助金を受けており、12才年度末まで所得制限がある。

Q 子育て日本一を目指す当町も、高校3年まで現物給付の対象とし、子ども達が医療機関を受診しやすい環境を整えるべきである。子ども医療助成制度の拡充について、今後の考えは。

子ども医療助成の拡充は

町長 負担軽減へ協議

当町では、18才年度末まで、さらに所得制限なしで、すべての子ども達に助成している。

現物給付、それ以外の方は償還払い方式である。

現物給付対象者の拡大には、医師会、医療機関との協力、承認が必要となり、

当町独自では、難しい。今後、子ども達が医療機関を受診しやすいように、医師会、医療機関、近隣市町と協議をかさね、申請者の負担軽減に努めたい。

医療費助成制度には、償還払い（医療機関の窓口で自己負担を支払い、後日口座へ払い戻しされる）と、現物給付方式（医療機関で自己負担支払なし）があり、当町では、未就学児までが

現物給付方式（医療機関で自己負担支払なし）があり、当町では、未就学児までが



未来へジャンプ

森林整備事業は

町長 広域での対策を



森林を守りましょう

Q 今年4月に、「花粉症に関する関係閣僚会議」があり、花粉症対策として、間伐により力を入れていく方針のようである。国のモデル事業として、優先的に支援されるように、伊勢志摩国立公園指定地域として新たな整備事業を始める時期ではないか。

町長 森林環境の保全や整備では、令和3年度から12年度までの10年間で南伊勢町特定間伐等促進計画に基づき、年平均18・4haの間伐整備を進めていく。

現在、「花粉発生源対策推進事業」により、国が花粉の少ない苗木や他樹種による植え替え等の推進を図っているが、当町では、当該事業の実績はない。今後、県や近隣市町と共に広域での対策を進めていく。

みえ子ども・子育て応援補助金は 町長 事業を検討中



おかだ かずお 議員
岡田 和夫



町の未来を

Q

人口減少率が高い10市町に対して、妊娠・出産から子育て期までを対象とする「みえ子ども・子育て応援総合補助金」を創設するということが、申し込む支援事業は何か。また、保育園児の病児保育を始めてはどうか。

A

町長 申請する事業は検討中ではあるが、小中学校の給食費の減免や南島地区の保育所の高台移転を考えている。病児保育については、現在、伊勢志摩定住自立圏の共同取組として、伊勢市内の小児科併設の施設が利用できる。なお、町立病院の小児科は月・水・金曜日の診療であり、小児科医は常駐ではなく、病児保育を町内で常時開設できる環境ではないので、今回の県の補助事業を活用する病児保育の開始は考えていない。

店舗の閉鎖には

町長 対策プロジェクトの推進

Q

JAは町内の販売所を閉鎖すると聞いた。販売所が閉鎖となれば、特に高齢者は買い物に困ることになる。町としてJAとの間で、どのような話し合いをしているのか。

A

町長 「町管内のすべてのJA伊勢生活店舗において、令和6年3月末までに、直営での店舗経営は行わない」との報告をJA伊勢より受けている。



移動販売車「買物くん」

JA伊勢としては、閉鎖する店舗の運営をして頂ける方を募集して、引続き店舗を存続していく考えを持っている。店舗運営の応募がない場合は、地区住民の理解を得ながら、生活協同組合との連携や移動販売車に対応していくとの説明である。町としては、新総合計画にも「買い物不便・困難対策プロジェクト」と位置付け取り組んでいく。

◆ 委員会活動報告 ◆

～より良いまちづくりのために、調査・研究、
そして、現地視察などの活動を積極的に実践しています～

総務建設常任委員会

町の財政・産業・建設・防災・上下水道・まちづくりなどについて調査や審査を担当しています。

活動目標

◆ 4月19日

協議事項

● 今年度の取組について

◆ 5月17日

調査事項

● 観光商工課所管

南海展望広場・たちばな展望台視察

● 防災安全課所管

奈屋浦防災公園予定地を現地視察

◆ 6月28日

調査事項

● 観光商工課所管

・南海展望広場、たちばな展望台の視察について
・ふるさと納税について
・商工会、観光協会との意見交換会について

委員会 組織構成

委員長 河村 健志

副委員長 田岡 悟

委員 岡田 和夫

松葉 和久

東 伊久雄

山本 克彦

教育民生常任委員会

教育・子育て・福祉・医療・生活・環境衛生・健康保険・介護保険・町税などの調査や審査を担当しています。

活動目標

◆ 4月17日

調査事項

● 今年度の取組について

◆ 5月15日

調査事項

● 教育委員会所管

● 子育て・福祉課所管

◆ 6月26日

調査事項

● 環境生活課所管

● 税務住民課所管

令和5年度事業について

各所管の職員に令和5年度の事業について聞き取り調査を行い、費用対効果等の協議を行いました。

委員会 組織構成

委員長 岡本 眞

副委員長 上村 直美

委員 田中喜一郎

掛橋 靖

倉田 育

森 源久



みんなの声

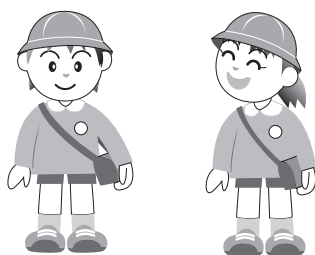
つぶやき広場



綺麗な保育所は
気持ちがいい♪

コロナも 5 類になり、これから新しい保育所（おひさま保育園）でいろんな行事が始まってくるのが楽しみです。駐車場が広くなったので送り迎えも楽になったので助かっています。

(30 代女性)



若者定住対策で、
いろいろあるけど、

大企業を誘致して、若い人たちに、働く場を！

そうすれば、人口減少も食い止められるんとちがうかな。

ガンバッテください。

(40 代女性)

いろんな話を
聞いてほしい！

行政に対して区のお願いや連絡をとる機会はよくあるのだが、各議員の普段の活動はあまりわからない。コロナのこともあったが、これから地域にもっと来てください。

(区長会との意見交換会より)



「5 類」

新型コロナウイルス感染症もインフルエンザと同じ 5 類に移行したけど、また 9 波が来ているという専門家もいるし、感染予防は自分でしっかりするものでしょうね。

(60 代女性)

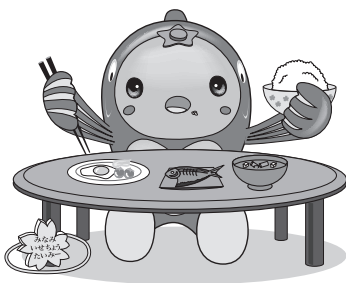


絶景ブランコ

南海展望広場の絶景ブランコに子どもと行ってきました。聞いていたよりすごくよかった。

また南伊勢町に新しい観光スポットが生まれたね。

(30代女性)



やめてほしい！

久しぶりに見ました。歩きタバコをしている人。

少し我慢して、所定の場所をお願いします。

(60代女性)



朝獲れ鮮魚

南伊勢町は魚の町で、朝獲れの鮮魚が各地で移動販売車で買うことができます。そやけどやっぱりどこかに産直市場みたいな施設があるともっと南伊勢町が発展すると思います。

(70代男性)



あなたもつぶやきませんか？

どんなことでも大丈夫です(^^) みんなでつぶやきましょう。

〒516-0194 南伊勢町五ヶ所浦3057 議会事務局 宛 FAX 0599-66-2164

みんなでやっとなで～

生涯学習講座 編

10



＊＊ 元気シニア 健康教室 ＊＊

- ✿ 元気で長生き、健康・生きがいづくりの教室です。
- ✿ 町内9箇所で開催しています。
- ✿ 教室では、リズム体操・ボール運動・6分間歩行、フリーピンポンなどを行なっています。
- ✿ いつまでも自立した生活ができ、元気で行動的な高齢者をめざします。
- ✿ 指導は日本スポーツ協会公認のスポーツリーダー2名で行なっています。
- ✿ 令和5年3月28日には、第1回南伊勢町長杯フリーピンポン大会が23チーム92名（7歳～94歳）の方々が参加し盛大に行われました。

今回はみなさんも参加してみませんか。

お問合わせ・お申し込み

NPO 法人みなみいせ市民活動ネット町民文化会館

☎ 0599-67-1011



議会を傍聴しませんか

次回定例議会（予定）

9月
議会

9月12日（火）～9月19日（火）

傍聴の受付は議会事務局まで。

皆さまの傍聴をお待ちしています。

議 長 掛 橋 靖	議 会 広 報 特 別 委 員 会	委 員 長 森 源 久	副 委 員 長 田 本 克 彦	委 員 上 田 倉 山 村 岡 直 美
-----------------------	---	----------------------------	--------------------------------------	--

議会だよりについてのお問
い合わせや、議会に関するご
意見、ご要望がございましたら
議会事務局までご連絡くだ
さい。

☎ 0599（66）1781
FAX 0599（66）2164

「爆弾低気圧」「線状降水帯」、数年前まではあまり聞かなかった気象用語が、近年の異常気象によって頻繁に使われるようになりました。

夏から秋にかけては、台風が多く発生する季節となります。現在は気象衛星の精度もあがり、以前とは比較にならないほど、正確な気象情報を早く知ることができます。

南伊勢町では今年度も8月に防災フェスタ、10月に総合防災訓練、12月にはみえ・地震津波対策の日シンポジウム、3月には防災の集いが予定されています。

当地域は近い将来大地震の発生が予測されますが、尊い命を守る為にいつそ防災について取り組みたいものです。

（田岡）

編集後記

